

令和2年度 夢・志宣言『校長先生からのメッセージ』

令和2年12月4日

今、日本中で、空前の大ヒットとなっている、アニメ映画『鬼滅の刃』に、印象的なシーンがあります。校長先生の一番好きなキャラクター、煉獄杏寿郎という剣士の母親が、彼がまだ子供の頃、剣技に優れた我が子に対し、その才能を弱い人を助けるために使いなさいと諭すシーンです。「人よりも多くの才に恵まれた者は、その力を世のため、人のために使わねばなりません。」というセリフが胸を打ちます。この、「自分の才を、世のため、人のために使え。」というメッセージは、そのまま上柴中のみんなに、校長先生が伝えたいメッセージです。こんなことを言うと、そんなこと言ったら「私には、そんな特別な才能なんて、ない」という人がいるかもしれません。でも、それは違います。みんなが、今、毎日、学校に通い、部活や勉強、学校生活を頑張っているのは、この才能を見つけ、伸ばすためです。みんなには、まだ自分もわからない、無限の可能性、才能があります。その可能性、才能は、夢を持ち、志を立てることで、見つけ伸ばし、育てることができます。

だから、自分の夢を、恥ずかしがらず胸を張り、堂々と言いましょ。たとえ、その夢が叶わず、変わってしまったり、夢に挫折することになってしまっても、その時点、時点で、夢を持ち、志を立てることは、生きる目標になり、生きがいになります。夢・志宣言は、自らの未来に向けての覚悟と決意を表しています。過去は変えられないし、他人を変えるのはたいへんです。でも、自分と未来は自分次第で変えることができるはず。今の自分が置かれている状況に不平不満ばかり言って、周りや人のせいにするのではなく、自分に矢印を向け、前向きな夢・志を持って、自分が変わること、周りの環境や未来を変える努力をしてほしいと思います。

今日は、そんな前向きな夢・志を持った、身近な先輩や後輩、友人の話を聞ける貴重な機会です。それを真剣に聞くことで、自らの夢・志を見つけ、その実現を目指すためのエネルギーにしてほしいと思います。「自分の才を、世のため、人のために使うこと。」それを、自らの夢・志とし、生きがいとできるように、杏寿郎のように、「俺は俺の責務を全うする。」と胸を張って言えるような、人のために働くことを喜びとできるような、そんな人に、みんなには、成長してほしいと思います。

